

## 東日本大震災被災地支援活動について

### ■アンケートの趣旨

名古屋市では、平成23年3月11日の東日本大震災の発生直後から被災地への職員派遣を行っており、その中でも岩手県陸前高田市へは“行政丸ごと支援”を掲げ、震災直後から被災地のニーズに対応して、業務に精通した職員を派遣しており、令和7年度も陸前高田市へは職員を継続して派遣しています。今回のアンケートは、東日本大震災から約14年5か月が経過した今、被災地支援及び陸前高田市との交流の取り組みなどについて、市民の皆さまがどのように考え、評価されているのかをおたずねし、今後の支援等の参考とするものです。

### ■説明・前提条件

Q1：必須 ・選択数1つ	Q2：必須 ・選択数1つ	Q3：必須 ・選択数1つ	Q4：必須 ・選択数1つ
Q5：必須 ・選択制限なし	Q6：必須 ・選択数1つ	Q7：必須 ・選択肢1つ	Q8：任意 ・自由記載

- ▶ 年代・居住区・性別の属性は事前に登録されたモニターの属性から取得
- ▶ 比率はすべて、各質問の回答者数に対するパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出（このため、合計が100%にならないことがある）
- ▶ 複数回答が可能な質問については、各項目の比率の合計は通常100%を超える

### ■アンケート実施期間

令和7年8月29日（金） から 令和7年9月8日（月） まで

### ■モニター数・アンケート回答数

対象モニター数： 500人    回答数： 416人    有効回収率： 83.2%

### ■問い合わせ先

調査テーマに関すること  
防災危機管理局 危機対策課

電話：052-972-3585    F A X：052-962-4030  
E-Mail：a3584@bosaikikikanri.city.nagoya.lg.jp

調査概要に関すること  
スポーツ市民局 広聴課

電話：052-972-3140    F A X：052-972-3164  
E-Mail：net-moni01@sportsshimin.city.nagoya.lg.jp

# 回答集計

※各図表の「N」は、回答者数を表しています。

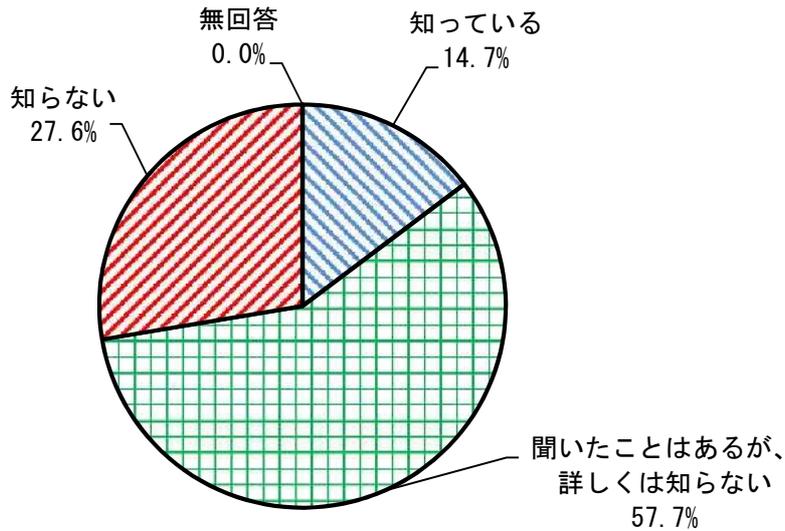
## 関連リンク

○名古屋市の被災地支援の取り組み（名古屋市公式ウェブサイト）

<https://www.city.nagoya.jp/bosaikikikanri/page/0000035781.html>

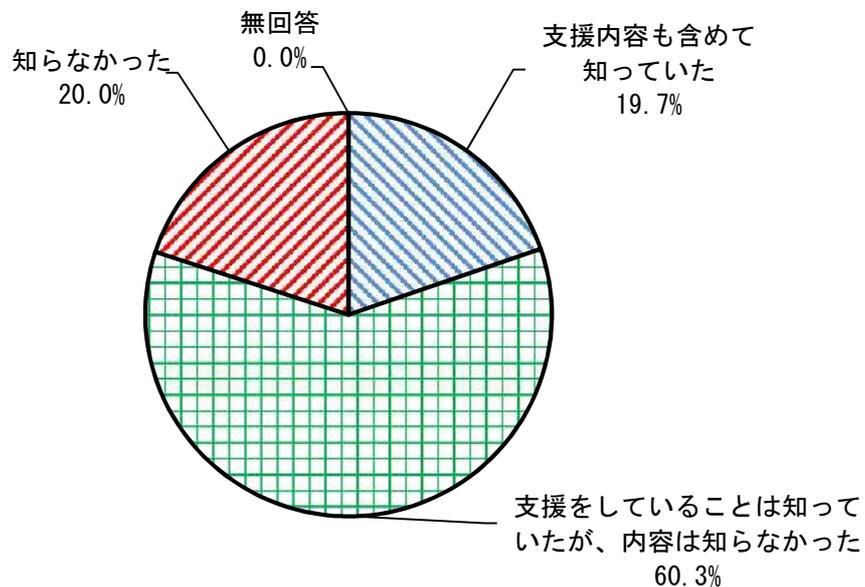
Q1【※必須】あなたは、現在の被災地の復興状況を知っていますか。（選択は1つ）

N=416



Q2【※必須】あなたは、名古屋市の被災地支援の取り組みを知っていましたか。（選択は1つ）

N=416



<被災地域への職員派遣について>

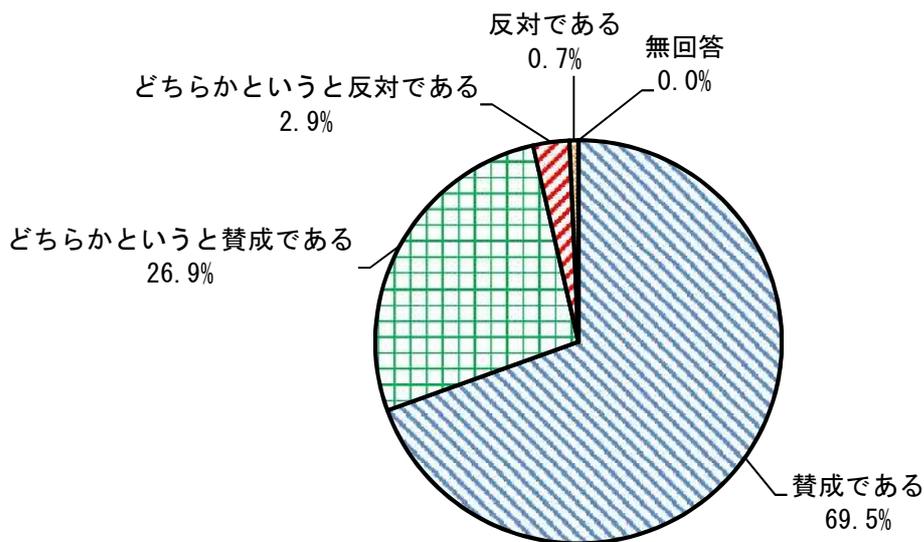
名古屋市では、陸前高田市“行政丸ごと支援”を掲げ、震災直後から被災地のニーズに対応して、業務に精通した職員を派遣しています。

陸前高田市では、これまで震災復興計画等に沿って復興事業を進めてきており、令和3年度までに区画整理事業や道路復旧事業等、ハード面の復興事業については完了しているものの、現在も様々な復興に向けた取り組みを実現するために、引き続き人的支援を必要としています。

○【参考資料】派遣職員の今年度およびこれまでの業務内容・職員派遣実績

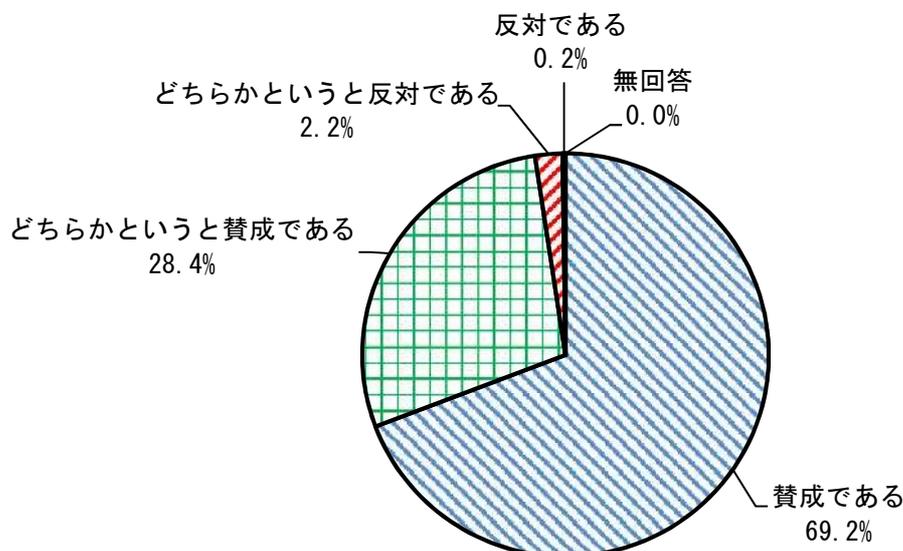
Q3【※必須】 現在、名古屋市が被災地へ職員派遣していることについてどう思いますか。  
(選択は1つ)

N=416



Q4【※必須】 今後、他市町村で大規模災害が発生した際に、名古屋市が被災地へ職員派遣をすることについてどう思いますか。(選択は1つ)

N=416



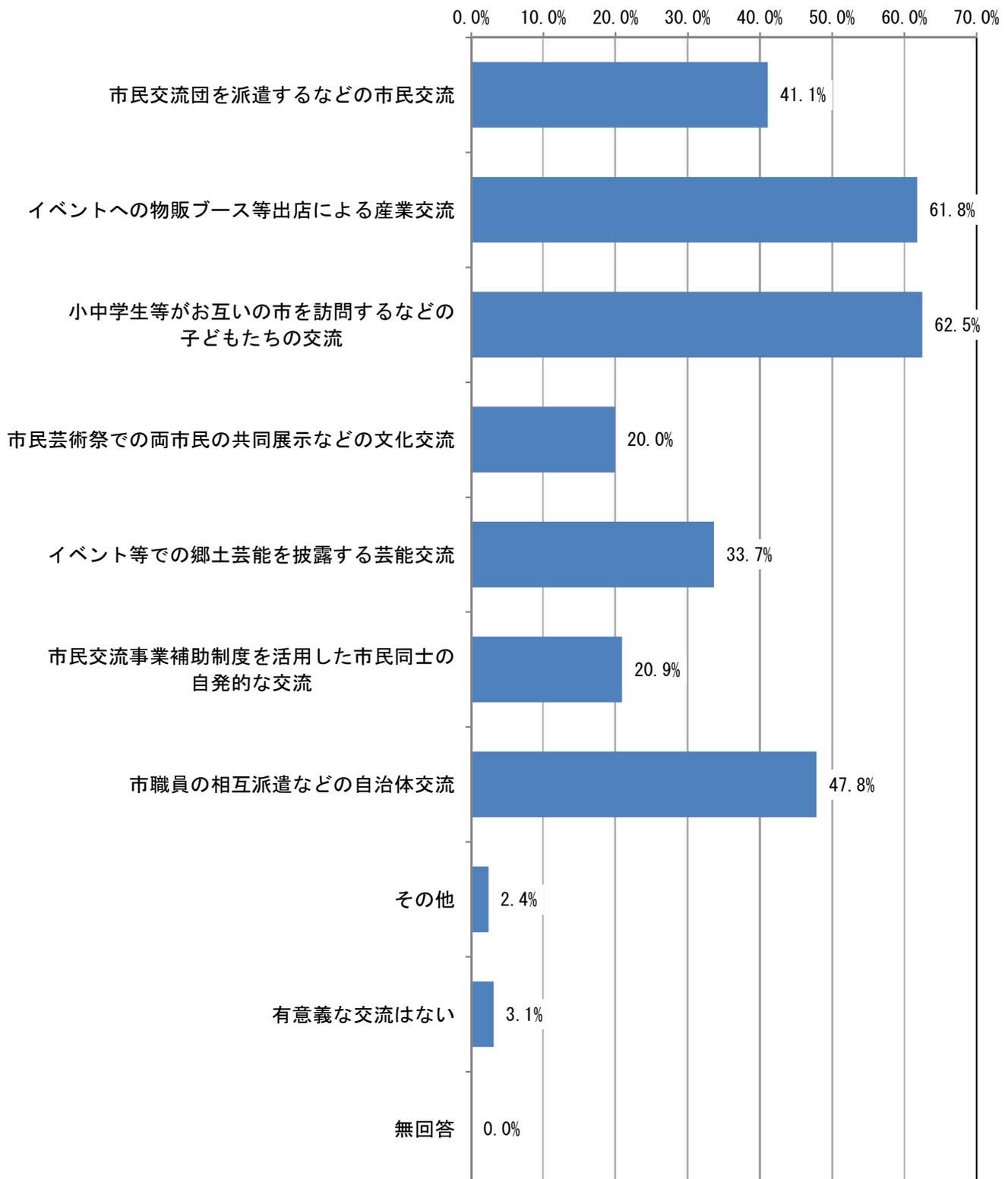
<陸前高田市との交流について>

名古屋市と陸前高田市は名古屋市の行政丸ごと支援が縁となり、強い信頼関係のもと、両市の交流が末永く続けられるよう、平成 26 年 10 月 28 日に友好都市の協定を結びました。

名古屋市では、陸前高田市の復興の進展に合わせて、陸前高田市への支援から、名古屋市と陸前高田市の間での双方向の交流へと進めていきます。

Q5【※必須】名古屋市と陸前高田市の友好都市としての交流が末永く続けられるために、あなたは、どの交流が有意義だと思いますか。(選択はいくつでも)

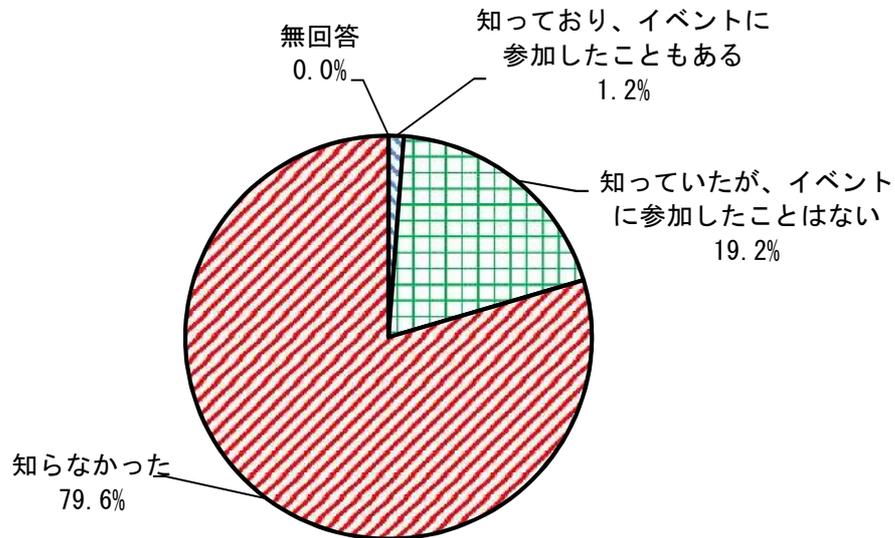
N=416



名古屋市では、東日本大震災 10 年の節目にあたり、陸前高田市から名古屋市に「奇跡の一本松」後継樹が友好の証、交流のシンボルとして贈呈され、令和 3 年 3 月 23 日に東山動植物園に植樹されたことを契機として、毎年 3 月 23 日を「絆の日」として定め、陸前高田市との交流・防災啓発イベントなど様々な取り組みを実施しています。

Q 6 【※必須】あなたは、毎年 3 月 23 日が陸前高田市との「絆の日」であることを知っていましたか。(選択は 1 つ)

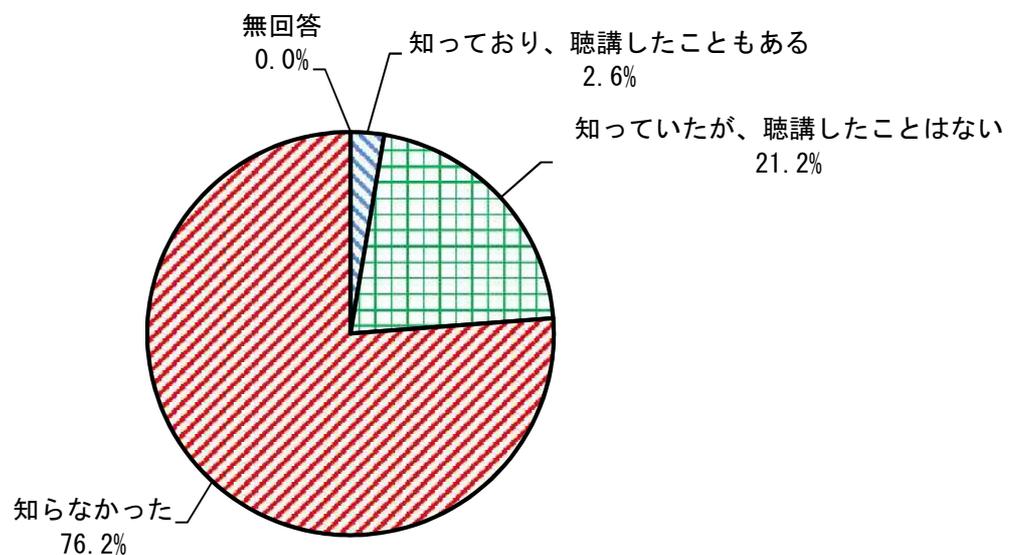
N=416



名古屋市では、被災地への支援によって得られた教訓や経験を市職員間で情報を共有して防災施策に活かしているほか、被災地派遣職員等による講演会などを実施して市民の防災意識の向上を図っています。

Q 7 【※必須】あなたは、名古屋市が被災地派遣職員等による講演会を実施していることを知っていましたか。(選択は 1 つ)

N=416



Q 8 東日本大震災の被災地支援活動に関してご意見があればご記入ください。(自由記載)

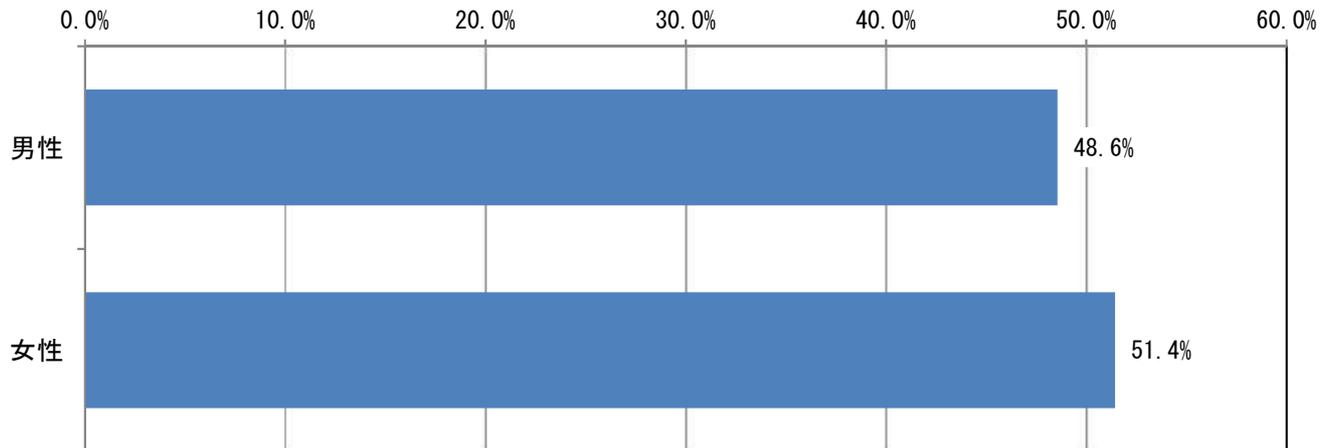
- ・ 支援はもちろん大切である一方明日は我が身。支援の中で得た教訓や改善点を今後の名古屋市の防災計画に反映できるように、有意義に活用して欲しい。支援だけが目的にならないように、名古屋市が被災した場合は、都市部ならではの問題点もあると思いますが、教訓として学ぶことも沢山あると思います。
- ・ 被災地支援活動には賛成です。しかし、派遣される職員の方々に無理のないように配慮して頂きたいと思います。今後大きな災害が起きた時、適切な支援が行えるよう日頃からの取り組みをお願いしたいと思います。
- ・ 自然災害は、いつどこで起きてもおかしくないので、助け合いは大事だと思います。イベント、講演会など開催されていることを知らなかったりしたので、もう少し情報を流して貰えると嬉しいです。
- ・ 日本という同じ土地で生活しているので、被災地を支援することはとても大切だと思う。しかし、ある程度の支援後はその地域で生活をしている人々にお任せすることが大事だと思う。そうしないとずっと支援を行い続けることになるので、話しが変わってくる気がする。支援を全くしないわけではなく、定期的に交流があれば安心して立て直していくことが可能だと思う。
- ・ 震災から 14 年も経っているのでそろそろ打ち切ってもいいのではないかと思う。

ほか

## ■属性集計

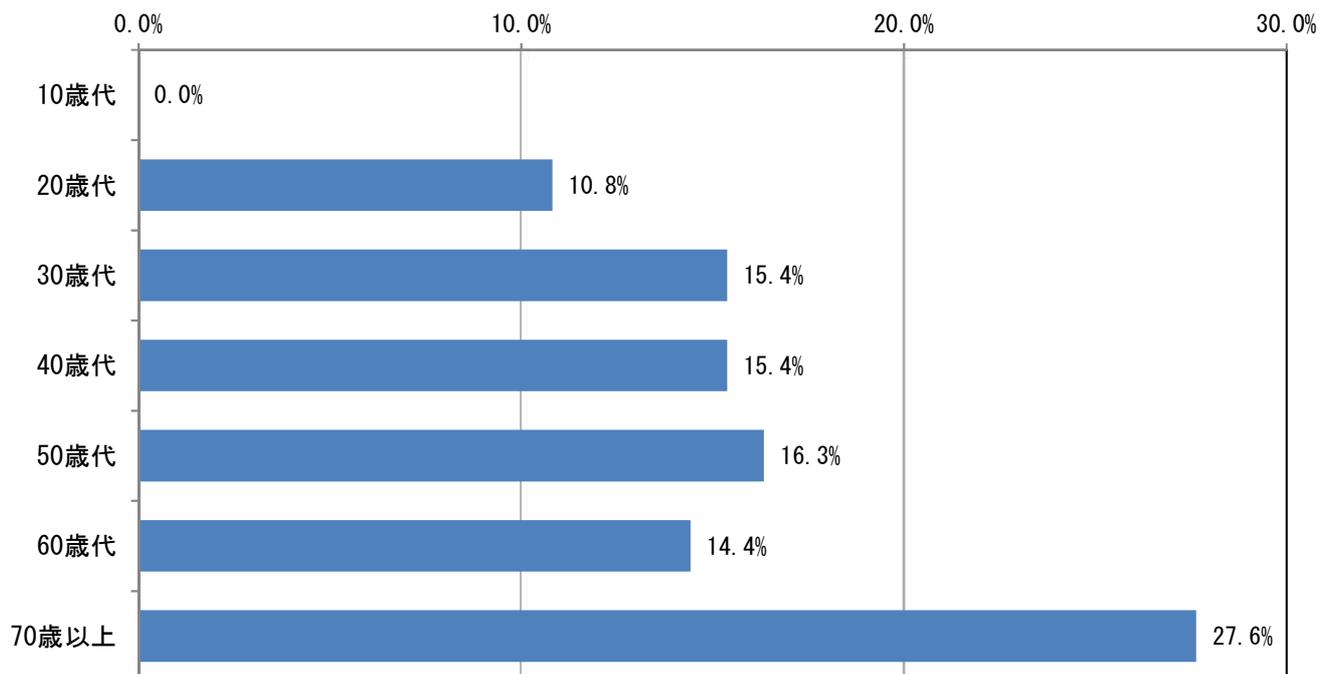
### 性別

	全体	男性	女性
%	100.0%	48.6%	51.4%
回答者数	416	202	214



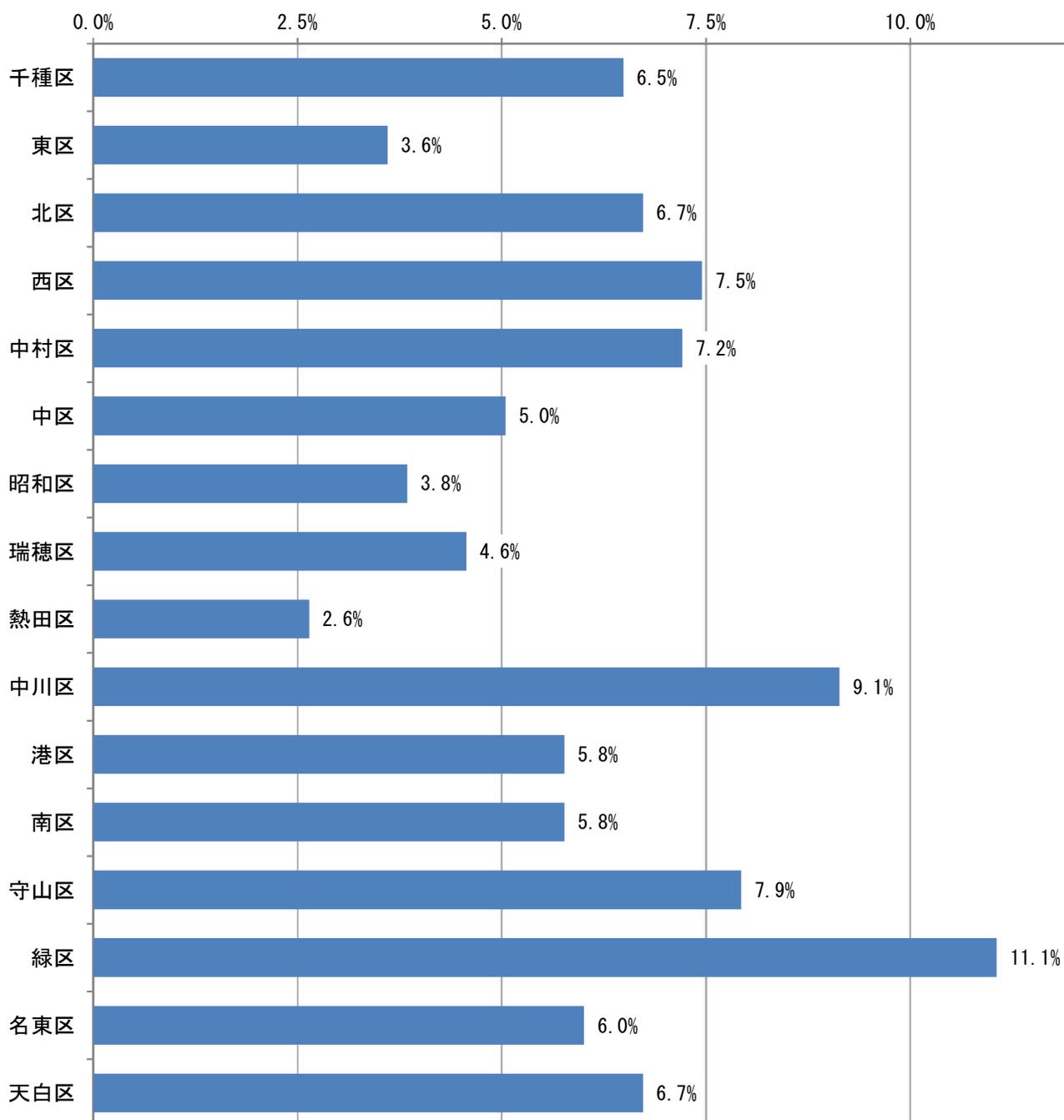
### 年代

	全体	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
%	100.0%	0.0%	10.8%	15.4%	15.4%	16.3%	14.4%	27.6%
回答者数	416	0	45	64	64	68	60	115



居住区

	全体	千種区	東区	北区	西区	中村区	中区
%	100.0%	6.5%	3.6%	6.7%	7.5%	7.2%	5.0%
回答者数	416	27	15	28	31	30	21
		昭和区	瑞穂区	熱田区	中川区	港区	南区
		3.8%	4.6%	2.6%	9.1%	5.8%	5.8%
		16	19	11	38	24	24
		守山区	緑区	名東区	天白区		
		7.9%	11.1%	6.0%	6.7%		
		33	46	25	28		



**【参考資料】**

派遣職員の今年度およびこれまでの  
業務内容・職員派遣実績

## 派遣職員の今年度及びこれまでの業務内容

### (1) 陸前高田市派遣職員の今年度の業務内容

- ・防災関係業務

### (2) 陸前高田市派遣職員のこれまでの業務内容

- ・バス路線や鉄道などの交通政策の調整
- ・財務システム及びデータの復旧
- ・庁内LANの構築、情報ネットワークの復旧
- ・り災家屋の調査、土地関係のデータの復旧
- ・戸籍・住民票、国民健康保険、生活保護、介護保険、家庭ごみ収集等の行政サービスの回復
- ・被災した保育所、子育て支援センター等の再開
- ・災害保健支援チームの総括、被災者に対する保健指導等の実施
- ・震災復興計画の策定
- ・農業・林道関係のデータの復元
- ・被災した小中学校の施設の応急復旧
- ・防災行政無線の復旧、地域防災計画の改訂
- ・水道事業の運営事務及び被災した水道施設の復旧
- ・産業労働業務（中小企業振興、産業振興）
- ・観光交流・振興業務
- ・復興計画推進業務（区画整理）
- ・道路等復旧業務

## 本市における職員派遣実績

(1) 派遣人数 (令和7年7月末現在)

(延べ人数)

派遣先自治体	年度														
	平成								令和						
	23	24	25	26	27	28	29	30	01	02	03	04	05	06	07
岩手県陸前高田市	144	16	13	11	8	11	13	12	12	12	6	1	1	1	1
岩手県(県庁)	8	1	2	1											
岩手県宮古市			3	1	1	1									
宮城県仙台市	1	4	4												
宮城県気仙沼市				1	1	1	1	1	1						
小計	153	21	22	14	10	13	14	13	13	12	6	1	1	1	1
合計	295名														

(2) 被災地域支援費

主に、派遣職員旅費、現地調整、産業支援、医療支援及び報告会等開催などに係る経費

(単位:万円)

年度	平成							
	23	24	25	26	27	28	29	30
実績	13,300	4,255	4,848	3,240	2,445	2,191	2,196	2,949
年度	令和							
	01	02	03	04	05	06		
実績	2,087	3,717	2,468	3,108	3,124	3,826		